



宇宙船

令和5年度 第1号
立川市立立川第八中学校
同 地域学校協働本部

〒190-0013 立川市富士見町 7-24-1 TEL(042)526-2007 FAX(042)529-1180 URL <https://www.tachikawa.ed.jp/jh08/>

学校だより「宇宙船」は毎月15日に発行します

新年度の始まりです

校長 千頭 和正 巳

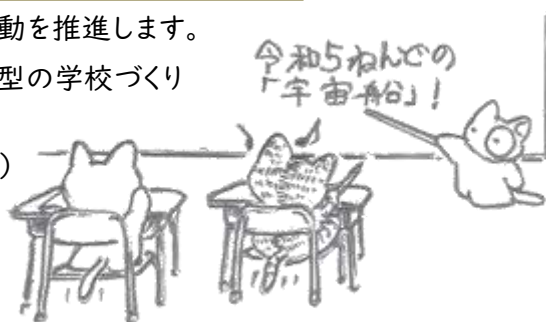
4月7日に61名の新入生を迎え、全校生徒183名でのスタートとなりました。新入生の皆さんが入学式で顔を上げ、良い緊張感をもって式に臨む姿は立派であり頼もしさを感じました。校長式辞では「目標をもつこと」と「思いやりの心」について話しました。1年生だけではなく進級した2、3年生にとっても4月は大きな節目となります。あらためて先生や友達の話丁寧聞きことから始めて良いスタートとなることを願っています。

この学校だよりのタイトル「宇宙船」は校歌の1番から3番まですべてに出てくる言葉です。入学式では生徒会の生徒が校歌の歌詞の意味を紹介してくれました。校歌の歌詞には理想とする第八中学校の姿があり、その中にある「宇宙船の基地」という言葉は「基地」が学校であり「宇宙船」は生徒を表していると丁寧に説明してくれました。その理想とする学校を目指すため、次の2つのことを教育目標として掲げています。

「命を大切に作る心をもつ人」「知恵」を身につけ活かせる人

この教育目標の達成に向け、次のことを重点として教育活動を推進します。

- 1 地域と協働し、小中連携を推進するネットワーク型の学校づくり
- 2 特別支援教育の理解と充実
- 3 心の教育の推進（人権教育・道徳教育の推進）
- 4 学力及び体力の向上
- 5 主体的、創造的に活動する生徒の育成
- 6 安全で安心な学校づくりの推進



第八中学校は学区を同一とする新生小学校と合同で学校運営協議会を設置しています。委員の皆様にご助言いただき小中連携、地域との連携を中心とした活動を推進していきます。また、特別支援教育については特定の生徒を対象にするのみではなく、全ての生徒にとって学習に集中できる環境、わかりやすい授業展開、個々の生徒に寄り添った生活指導を重視していきます。その中でも本校は、学習面で令和3年度より、東京都の授業改善推進拠点校として研究を重ね、数多くの教員研修会、研究授業、を実施しています。拠点校としての取組は今年度までとなります。研究の場面をお見せする機会はなかなかありませんが、公開授業の際、保護者の皆様が中学生だったことと比較して授業が変わってきていることなどがご確認いただけるものと思っています。

最初の学校公開は4月22日(土)に行います。各学年、当初の緊張も和らぐ頃ですので、是非ご参観いただきお子様や学級の様子、授業の様子などご意見いただければ幸いです。

学校では新学期より「マスクの着用を求めない(先生、生徒)」こととなっています。つまり「マスクを着用しなくてもよい」ということです。また、「感染症などが心配であればマスクをしていても構いません」ともなります。ここまで、学校など他者がいる中でのマスク生活が3年続いたことにより外すことに躊躇する生徒、季節的に花粉アレルギーの生徒も多数いることから、マスクを外した生活に戻るまでの移行時間は必要だと考えます。マスクの着用の有無による差別・偏見がないよう適切に指導して参ります。